

《Umakicamp》を設計したdot architectsの家成さんの出身地は？
ヒント：出身地での経験が建築について考えるきっかけになったそうです。
A. インド B. ドバイ C. 沖縄県 D. 兵庫県

2月7日 苗っ子フェスティバル



苗羽小学校の児童が小豆島にちなんだテーマで学習した内容を発表する苗っ子フェスティバルが行なわれました。各学年ごとにお醤油、オリーブ、二十四の瞳、観光やお土産などについて調べて、グループごとに劇にしたりクイズをだしたりと工夫をこらした発表をしました。教室の外には、お醤油の味見コーナーやおリーブ観察日記の展示が設けられ、それぞれが懸命に自分たちが暮らす地域について学習した様子が伝わりました。



オリーブの幹、葉、花、実など一年間を通して観察した内容を記録したオリーブ観察日記

2月8-11日 メッセージカードの会

バレンタインを前に、大切な人へ想いを届けるため世界にひとつだけのメッセージカードをつくる会が開かれました。迷路のような坂手のまちを歩きながら集めた野花や落ち葉をつかって、カードを飾ります。片思いの人への気持ちや、お父さんやお母さんへの感謝など、みんなの大切な気持ちが詰まったカードができました。坂手のまちなみの特徴や、落ちている葉っぱの形、咲いている花の色など、小さな発見がたくさんあった会でした。



2月21日 お母さんのアクリルたわし教室



アクリル 100%の毛糸で編んだアクリルたわしは、洗剤が無くても汚れが落ちるので、環境を汚さず食器洗いや水回りの掃除ができると評判です。坂手地区の壺井雅子さんが先生となってアクリルたわしづくりの教室が開かれ、ご近所のお母さんたちが参加しました。たわしを編むことはもちろん、家に籠りがちなお年寄りがお出かけをしたり、ご近所同士でお喋りをするための場にもなり、参加したみなさんはとても嬉しそうでした。

2月10日 小学生議会

苗羽小学校 6年生 15名が、「1日議員」となって自分たちの住む町について考える小学生議会が開かれました。緊張した空気の中、子どもたちから、船の運賃、新病院の建設、観光や産業など率直な質問が投げられ、塩田町長からわかりやすい答弁がありました。議会の仕組みを知り、地域の課題を自分の問題として考えていくきっかけになりました。

2月21日 福田で巨大な石割りに成功



4月25日にNHK BSプレミアムで放送される福田の石文化の謎にせまる番組撮影のため、福田の石工さんが江戸時代から伝わる方法で石割りの実演を行ない見事に成功しました。福田の石は大阪城の石垣にも使われるほど質も高く、長い歴史があります。

2月18日 劇団ままごとが公演の準備へ

瀬戸内国際芸術祭2013、アート小豆島・豊島2014で、《港の劇場》と題して数々のパフォーマンスを行なった劇団ままごとが来島しました。来島の目的は、今年7月に小豆島高校にておこなう演劇《わが星》公演の準備。《わが星》は、演劇界の芥川賞といわれる岸田國士戯曲賞を受賞した作品でままごとの代表作です。公演の会場となるのは、東京と小豆島のみ。首都圏で配布されているパンフレットには小豆島で撮影された星空の写真が使われています。ままごとの小豆島への想いが詰まった公演に向けて、準備が進められています。



2月15日 坂手地区の未来にむけて

坂手公民館にて坂手地区に設立予定の小規模多機能施設をはじめ、瀬戸内国際芸術祭 2016、水族館の計画、健康づくり・子育てのプラン、新病院の設立など小豆島町の施策の今後の展開について説明会が行なわれました。坂手住民94人が集まり、積極的にまちづくりについて考えました。

2月25日 福祉と医療の推進会議

オリーブ記念館にて第6回目の「小豆島町の福祉と医療の推進会議」が開かれました。各委員と小豆島町の間で、新病院の計画、介護福祉、障害者福祉、子育て支援、人口推計について議論が交わされました。



3月4日 京都大学アメフト部との交流



京都大学アメフト部が小豆島の小・中・高校へ訪れ生徒と交流を楽しみました。苗羽小学校では生徒から京大生への積極的な質問のあと、体を動かすゲームを行ない、みんな一緒に盛り上がりました。

3月4日 地域おこし協力隊の講話

小豆島高校1年生約90名に向けて、小豆島町地域おこし協力隊4名が講話をしました。石の文化を研究する川宿田好美さん、画家の岡村美紀さん、馬木キャンプを運営する向井達也さん、写真家のパトリック・ツァイさんが、自身の経験をもとに、将来の仕事や生活について話しました。



向井さん家の ご近所ギフト

「たべだすけ」で、人と人がつながる小豆島の暮らし。ここではご近所さんからの頂きものを感謝の気持ちを込めて紹介します。

いつも玄関先に美味しいものを届けてくれるご近所さんから。メバルは春を告げる魚と言われている。向井さんは、捌いて唐揚げにいただきました。



ブログでもできごとを紹介しています

- 小豆島町長の「八日目の蟬」記
www.town.shodoshima.lg.jp/oshirase/youkame-semi.html
- 小豆島 BLOG
<http://shodoshima-tourism.seesaa.net>
- 醬の郷+坂手港プロジェクト事務局ブログ
<http://relational-tourism.jp/archives/category/blog>